



## 冬に鍛える

—海蔵幼稚園の朝—

寒風を

ついで走る

晴れた日には雪の冠つた鈴鹿の峰々が美しい。そんな日に限って身を刺すような北風が吹き抜けます。

ここ海蔵幼稚園では、登園後しばらくすると、赤、青、黄、ピンクと、色とりどりの帽子が園庭にとび交います。

「今日も元気に頑張っ……」園長先生の励ましの言葉を聞いたあと、各先生を先頭にフランスごに列をつくって走り出す。狭い園庭を、外廻り、内廻り、S字形、8の字型と駆け巡るひと時、白い息が増々白く感じられます。頬が一段と赤味を帯びてきます。

体じゅうは幼児教育の重要な柱……。  
こうして今日一日が始まります。

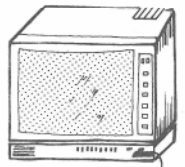
桜の咲く

頃は……

もうすぐ卒業……。

年長児には、親も子もうれしい小学校生活が待っています。

子どものすこやかな成長を願って



# テレビゲームを考える

学年別テレビゲーム保有人員(S61.1.調)

種類	学年	1	2	3	4	5	6
ファミコン		29	48	70	56	95	86
パソコン		7	14	19	17	24	29
その他		3	10	5	22	1	18

遊び時間とその中に占めるゲーム  
時々の学年平均 (S61.1.調)

時間(分)	学年	1	2	3	4	5	6
平日	ゲーム時間	42	16	30	30	54	24
	遊び時間	150	102	180	120	138	120
土曜	ゲーム時間	48	19	45	60	57	42
	遊び時間	210	126	300	120	174	240
日曜	ゲーム時間	54	26	60	60	72	60
	遊び時間	378	288	420	300	294	420

最近、子供たちの遊ぶ姿がめつきり少なくなっています。どうも、家に閉じこもってテレビゲームに熱中している様子です。  
果たしてこれでもいいのでしょうか、共に考えてみましょう。

## 子供の自立を妨げるテレビゲーム

— 親の良識ある判断を望む —

海蔵小学校 山本道子

“やめられない止まらない  
○○えびせん”というお菓子の宣伝文句がありました。海蔵小学校の最近の子供たちの様子を見てみると、まさしく“やめられない止まらないテレビゲーム”と言っても過言ではないようです。

実際、今回の調査をしてみて驚きました。全校児童の約七割がなんらかのゲームを持っており、しかも、高学年ほどその保有率が高いのです。

これでは持っていない仲間はずれにされそうだと子供供の気持ちも分かりますし、同時に、これでもいいのかという不安を持たざるを得ません。では、問題点を挙げてみましょう。

- テレビゲームは
- 自立心や創造力を損なう。
- ゲームをするだけの寂しい交流となる。
- ゲームをさせないと上級生

にしかられる。  
■ 生活のリズムが乱れる。特に、長時間している子供は睡眠不足となり、学校でもぼんやりしている。  
■ カセットの貸し借りによるトラブルがあり、そこから万引きなどの非行への道へつながる心配がある。  
では、どうすればいいのでし

## 培えられるか、友情・思いやり

山手中学校 和田光弘

よう。学校では、子供を健やかに育てるため今何が必要で何が必要なかを親が正しく判断し、実行するよう呼びかけていますし、ゲームも含めて生活指導上の問題が起こったときは、全職員で話し合い、指導に当たっています。  
また、子供たちへはなるべく外で遊ぶよう指導し、集会



先日、生徒たちにテレビゲームについての実態をつかむためアンケートをとりました。生徒たちは不安そうに「なんとどるの」「したらあかんの」と口々に言っていました。ひよっとするとまた楽しさを一つとり上げられるのかと警戒したのかも知れません。始めにアンケート結果を報告しましょう。ほぼ半数の者がテレビゲームを持っており、約一割の者が毎日のようにそれで楽しんでいるようです。週に二〜三回遊ぶという者を加えると約三分の一の者が楽しんでいてという実態です。やり始めると一〜二時間は遊んでしまいそのうち三分の一近くの者が勉強や家の手伝いにさしきわりのあつたと答え

ています。テレビゲームのプラス面については気分転換になる、夢中になれる、などと答えており、マイナス面では目が悪くなる、時間の無駄、などが上位を占めています。  
山手中では今までテレビの見過ぎ、ゲーム類の金銭浪費について、のめりこむな、計画的におこなうように、と指導してきました。テレビゲームについてはまだ具体的な指導はおこなっていませんが、いまテレビゲームについての功罪について考えるのも意味あることと思います。

健康……特に目に対する影響が大きい。疲れ目だけでなく、近視、乱視の原因にもなる。運動不足にもなる。交友関係……一人遊びや少



人数の遊びのため、閉鎖的な傾向が強くなる。  
学習・クラブ……熱中すると他のことは忘れてしまい、勉強時間に影響が出たり、クラブ活動軽視にもつながる。経済面での負担増。  
などが考えられます。  
たしかに先端技術の一端にふれ、コンピュータをこわがらなくなるといふプラス面や気分転換に有効という点もありますが、部屋にとじこもって長時間遊びに熱中していることが若者としてふさわしい姿でしょうか。今、生徒たちに必要なことは本当の友情、思いやりの気持ち、思ったことを実行にうつせる勇気です。テレビゲームにそれらを培う力があるでしょうか。のめりこんでいる生徒には何らかの話し合いが必要だと思います。

# 私達大人の自覚を

海蔵小学校PTA会長 水谷 則 幸

子供達の中に爆発的な人気のテレビゲームは益々加熱気味のようにあり、私達親どもは、あの甲高い、独特のリズムの音声に悩まされているのが現状のようです。

「目に悪いよ」、「指を痛めるよ」、「ついには一日三十分を厳守せよ」と、ヒステリックに大声を張り上げて叱っておりますが、親の目を盗むようにゲーム機にしがみついている子供を見ると、このすごい熱意の何分の一かでも勉強にむけてくれたら、と思わずにはいられません。

すでに指摘されているように、目に悪いとか、部屋に閉じこもってばかりからの運動不足等の身体の病気と、それ以上に心の病気が懸念されま

す。ファミコン依存症とも言うべき、唯一自分が主人公でいられるゲーム機の世界にのめり込み、友達との感情的交流がうまく出来ず、自己主張もない、いじめの標的にされたり、登校拒否につながるような子供が生まれてくるのではないのでしょうか。

また、次から次へと別売りのカセットが出て来て、子供

ボールなどの遊びと一緒にするなどの運動をすべきではないでしょうか。

幸い、海蔵小学校では、ゲーム機台数やゲーム時間など把握し、子供達への指導を強化して頂いていますので、PTAとしましても先生方のご指導のもと、家庭で何をすべきかガイドブックのようなものを作成し、出来るだけ私達が共通の認識を「ファミコン」対策に持つ必要を痛感するものです。

## 考えたい「面白さ」の中味

山手中PTA書記 川村 文子

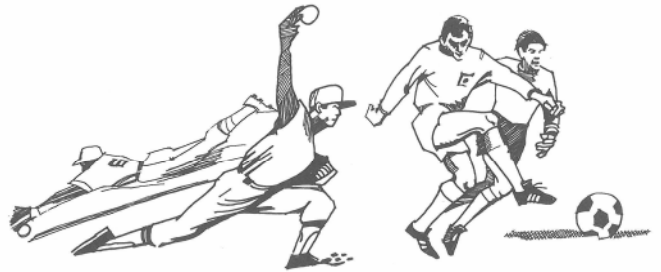
「ファミコン爆発的人気度品薄ノ」、このようなことをよく耳にします。

人気層は小学生に非常に厚いといわれ、企業の挑発的な売り込み、宣伝過剰に乗せられ、ゲームセンターのテーブルゲームと何等変りのないものを、子供にせがまれるままに買い与えているのではないかと思います。

今日の技術の最先端をゆくTVゲームは、大人であつても面白いものぞうですか、子供が夢中になるのも無理はないでしょう。しかし、その面白さの感じ方は、大人と子

供とはかなり違いがあるのではないか。未熟な子供にとっては、唯一無二の面白いものだと考える恐れがあるのではないでしょうか。

ゲーム機はどれほど面白くても所詮機械であり、人間との付き合いに到底かなうはずはありません。この事は経験を積んだ大人にとって、解りきつた事で言うに及ばないと思いますが、感情豊かで、人の気持ちを理解し、社会に適應する人間性を学んでゆくこの大切な時期にある子供たちにとって、TVゲーム(機械)が人間との触れ合いよりも勝



# 崩れる子供の環境が心配

西阿倉川 一 母 親

大流行のファミリーコンピュータについて考えてみました。

まずゲームのなかみ。子どもの日記にも、「〇〇君にミサイルをあてて〇〇君が死んだ」などというのが多いそうです。「死んだ、殺した」なんていう言葉が日常語としてさらりと出てくる、空恐ろしい限りです。

次に、どの子もやり出すとやめられないとのこと。いけないと思いつつも、もう少し、もう少しとテレビの前にすわ

りこむことになるのです。集団で元気に遊ぶ子どもの世界が、こわされていくようです。

そして、これは、子どもが自ら創り出した遊びではありません。高いものを売らんかなの商法に、子どももおとなもひっかかっているのではないのでしょうか。「今の子どもは」となげく前に、我々おとなが、子どものためのよりよい環境を、時流に流されることなく、がんこに守っていくことが大切なのではないでしょうか。

## 節度を保たせたい

東阿倉川二区 一 母 親

六年生で持っていない子はほとんどいないということ、クリスマスプレゼントにTVゲームを買ってやりました。

子どもが夢中になるのも無理はないですね。大人がしてもおもしろいのですから。それぞれの時代に流行があるので、ある程度はしかたがないと思います。

家の中でTVゲームばかりしていたら取り上げるが、今

のところ、野球部に行き、それからするので一時間弱です。夜は親がテレビを見るし、宿題があるのでゲームはやりません。

今のところ、ゲームを買ったから生活リズムが狂ったということはありませんが、もしそんなことになれば即ゲームを取りはずし、しまっておくという強い決意でいます。

昨秋、各町で行なわれた青少年健全育成地区懇談会では、少年センター所長の横井太三郎先生をお招きして「いじめ問題」についてお話を伺いました。

「いじめ」は、子どもたちの発達上の歪みである、と考えられることから、子を持つ親の共通の課題、さらには地域社会の克服すべき課題であると言えそうです。今、そう言った意味で、改めて横井先生に寄稿して戴いた次第です。

# 「いじめ」問題の解決を求めて

四日市市少年センター所長 横井 太三郎

いま、「いじめ」が大きな社会問題となり、警察をはじめ関係機関から、啓蒙のためのチラシやパンフレットが配布され、皆さまの関心も高いと思います。改めて私見を述べるとは、はばかれますが、貴地で講演させていただいたことを再確認の意味でペンをとった次第です。

## 昔と全く質の異なる「いじめ」

「いじめ」は、いま、はじまったことではなく、昔からあったと軽く見過ごすことはできません。昔と今とでは、子どもの質が大きく変わっているという認識が必要です。現在の「いじめ」は執拗で、陰湿で、残酷なものとなってあり、これが原因で登校拒否や自殺、或いは仕返しのための殺人など悲惨な事件が数多く発生しています。

子どもたちは、どんなにしっかりと、学校へ行かねばならない立場におかれていることを考え、たとえ、小さな「いじめ」でも、これを防止し、除去するための努力をしなければならぬと思います。

また、ご存知のように「いじめ」は親や先生に言わない（言えない）で、ひとり小さい胸をいため、苦しみ、悩んでいる場合が多くあります。それだけに、親は子どもの日々のようすを、しっかりとみつめ、その動作や言葉じりからも、これをくみ取るような深い配慮と洞察力をもつことが肝要です。

## 各家庭での

### 指導の要点

次に家庭で、子どもを指導するうえでのポイントをあげてみます。

第一に、人間の尊厳、命の大切さを教えることです。このためには、子どもの指導は「恥の意識」でなく「罪の意識」でなければならぬと思います。「しつけ」にあたり、目を外に向け「かつこうが悪い」「みつともない」という視点からの指導でなく、子どもの「良心に問いかける」指導が大切です。

人間尊重の教育は、常に良心に問いかけ、内面性を啓発するものでなければなりません。「人間として罪になる」という視点から「自分の心に正しいか」と子どもの魂に問いかける教育が大事です。「人間はすべて尊敬されるべきである」という指導をすべきです。尊敬とは他人の痛みを自分の痛みと感じ、それを自己課題として解決しようとする生き方の中でつくられるものと思います。他人を傷つけ、痛め、悲しむのを見て「おもしろい」という「いじめ」を解決するには、他人の立場、他人の痛みをわかる子に育てることが一番の緊急課題だと思います。

第二に、「ありがとう」の感謝の心をもった子に育てることです。このために親が日々こうした生き方を子どもに態度で示すことが必要ですが、宗教教育即ち「心を育てる教育」が特に大切です。神仏を信ずれば、高慢、不そんな態度は消え、感謝と敬けんの心が育ち、反省と謙虚な心が生まれます。

第三に、差別から幸せは生まれないことを教えると共に、親が差別しない生き方を子どもに示すことです。市内の小中学校で「いじめ」の極めて少ない学校は同和地区をもつ学校です。平素の生活を通し、差別をしない、差別を見逃さない、差別をゆるさない学級経営がなされてあり、家庭でも、地域でも、これに沿った教育がなされているからです。言葉を覚えていえば「人権



教育」がなされているのです。他人の立場に立って考え行動できる心豊かな子は、友達をいじめたり、親に心配をかけません。人間尊重の心の土台は「思いやり」です。これを育てるには、小さい時から家庭で「仕事」を分担させることも一つの方法です。

第四に、地域社会の教育力を高めることです。地域は、人間が心を寄せ合って暮しをつくる場所、互いに学び合う場所、互いに助け合って生きる場所であればなりません。こうした中で親同士が、子ども同士が深く関わり合っていくことが大切です。子どもが地域で遊び「対人関係のよい子」に育つような場づくりが必要です。また、問題がおきる前に親も教師も大人同士が関係の網の目を広げ、密にしていくなかで大切

です。最後に「いじめ」は本質的に「人間に対する攻撃的差別」であり、「人権問題」であることとを十分理解し、親が深い関心をもつと共に、真剣に取りくまねばならない問題であることを再認識して下さい。



## 春の

### 全国火災

### 予防週間

二月二十八日から三月十三日の間は、春の全国火災予防週間です。

乾いた北西の風が吹くこの頃、大切な生命や財産を火災から守るため、お互いに火の取り扱いには充分注意しましょう。

### 火の用心

#### 七つのポイント

- ①寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- ②子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- ③風の強いときは、たき火をしない。
- ④天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ⑤家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ⑥ふろの空だきをしない。
- ⑦ストーブには燃えやすいものを近づけない。

### 怖いのは

「消したつもり」と

「消えたはず」



↑開会式にむけて入場行進

秋の

連

合

運

動

会

スナツプ



↑高齢者と子どもの玉入れ

→幼児のはたとり



↑マラソン女子の部スタート

←町別リレー(優勝は松ヶ丘)



↑親子のびんつり競走



←町對抗つなき(阿倉川町チームの優勝)

→優勝旗は野田町の手に



### 新型消防車入庫 - 海蔵分団 -

昨年10月末、海蔵分団の消防車が新しくなりました。旧型車は、昭和40年に購入されたもので、すでに20年使用されたこととなります。

11月19日には関係者が集まって入魂式がとり行なわれ、安全祈願を致しました。



新型車入魂式

### 福祉画・習字展開催される

福祉意識の向揚を図るため、毎年行なわれている地区社協主催の福祉画・習字展には、本年も小、中学生から多数の作品が寄せられました。

厳正な審査の結果、下記の皆さんが入賞され、また作品は、協賛店である北伊勢信用金庫、百五銀行、第三相互銀行、三重銀行及びユニーの各店に展示されました。(2月中)



作品の審査

#### 受賞者の皆さん

賞名	ポスターの部	習字の部
市長賞	小5 杉本保憲	小5 後藤由美
	小5 依田信広	小5 阿部清美
	中1 塚山英樹	
市社協会長賞	小6 豊田敦子	小5 石崎美香
	中1 辻原由香	小5 水谷由美
		小5 渡部裕二
三重銀賞	中1 柴田宗和	小5 熊本尚子
百五賞	中1 高山祐輔	小4 金原淳
北信賞	小4 今井拓也	中1 竹中正樹
	小5 日比優子	小6 池田順子
ユニー賞	小6 水谷倫子	中1 山本有美

※銀賞、銅賞は略

## 地域の

### いぬなし子供会表彰される

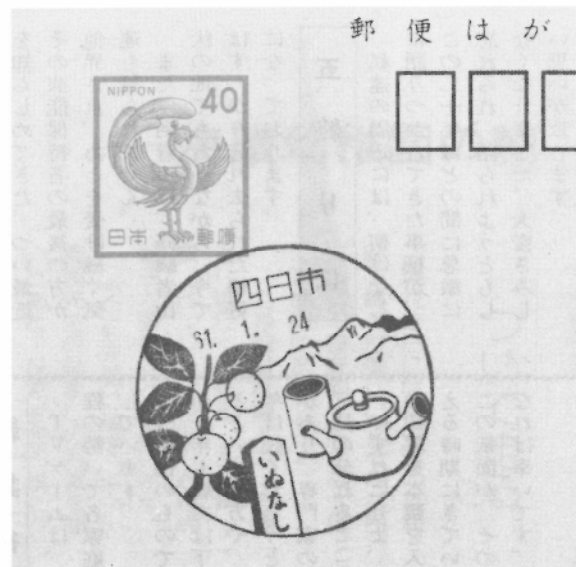
長年にわたり、天然記念物「いぬなし」の清掃、愛護活動を行なってきたいぬなし子供会(東阿倉川1・2区、阿倉川、万古町)は、市教育委員会より表彰され、12月15日、海蔵神社清掃奉仕活動のあと、感謝状の贈呈式がとり行なわれました。



表彰を受ける子供会の皆さん

### 「いぬなし」が郵便物の消印に

四日市郵便局の新局舎落成に伴って、風景入り通信日付印(消印)の図柄が変り、万古焼の急須と海蔵地区の「いぬなし」がとり入れられました。40円以上の葉書、封書を四日市郵便局へ持参し、窓口で「風景入りをお願いします」と申し出れば、押してもらえます。「いぬなし」が全国津々浦々へ走り出しました。



四日市郵便局の新しい風景入り消印

## 話題 あれこれ

### 市長を囲む地区懇談会

11月29日に、市長を囲む地区懇談会が、地区内団体役員等関係者の出席のもとに開催されました。

市長による工業高校跡地利用や4年制大学設置などの市政課題についての説明があり、その後、住民代表からはゴミ問題——美しい街づくり——について活発な意見、提言が出され、有意義な広報、広聴の場となりました。



### 海蔵文庫10周年記念行事開催

昨年6月で海蔵文庫は10周年を迎えました。

これを記念して、名古屋から人形劇団「むすび座」を招き、「つめをなくした鬼」の公演をしたところ、午前、午後の2回、約300名の子どもやお母さんの参加があり、楽しいひと時を過ごすことができました。



演劇を楽しむ子供たち

### 市民家庭菜園出来る

市では昨年6月、広く地域の皆さんに土に親しんで戴こうという主旨で、海蔵小学校南に家庭菜園を設けました。

土おこし、種蒔き、苗の植付け、水やり等、お父さん、お母さんにまじって子供たちの姿もみられ、大いに楽しんでおられる様子でした。みゆきヶ丘の一主婦からは「素晴らしい企画で喜んでます」との声が寄せられています。収穫期には、きっと新鮮な野菜が食卓を彩ったことでしょう。

尚、まだ若干空き区画がありますので、ご利用されたい方は海蔵地区市民センターまでお問い合わせ下さい。



一家で苗の植えつけ

### 老人と子どものゲートボール

野田地区では、老人会と子ども会がいっしょになってゲートボール大会を開催しました。12月も半ばであったため、寒い日でしたが、それにもめげず頑張りました。「孫と出来るのがうれしい」と皆さん幸せそうな笑顔をしてみえました。



また同老人会では、十数年前より墓地の清掃活動を行なっています。冬場は雑草が生えないせいか、30分もすればきれいになってしまいます。長年にわたりご苦労様。



### 一、はじめに

このシリーズを書き始めて五回目になります。海蔵地区という狭い地域にスポットをあて、地域の歴史を探ることは、史料等の不足を感じさせられます。しかし、地名には史実の谷間を埋めてくれるものが多々あります。このシリーズでその谷間を埋めるよう努力してきたのですが、実際にはなかなか思うようには参りません。

さて今回は、海蔵地区の最も「海蔵」たる「阿倉川」について考えてみました。もちろん「阿倉川」は、東・西両阿倉川について検討し、ここでは出来るだけ東西を省略したいと思います。

### 二、阿倉川の地名

第一回目の中で「海蔵川」は「阿倉川」であると断言しました。その根拠として「海」を「阿」と発言させることにあったかと思えます。

さて、海蔵地区には、古くから「阿倉川」の用字として以下のものがあります。

- ① 「鞍久良川」
  - ② 「阿久良川」
  - ③ 「鮑久良川」
  - ④ 「安久良川」
- これらの字が用いられる以



### 三、江戸期になって

前は、海蔵川は「海人蔵川」でありました。海人蔵を海蔵にしたのは、奈良時代に地名を二字で表わす風習が作りだされたためでしょうか。この海蔵を音で表わすことから①～④のような字が用いられたのでしよう。それぞれ①～④の字が用いられた時代がいつごろなのか実証できれば、海蔵地区の歴史がもっともと浮き出されるのですが、残念ながら明らかではありません。

江戸初期までは、東西阿倉川は「阿倉川村」を形成していましたが、十七世紀になって東西に分離したと伝えられるものの、確かな証拠に欠けております。また、江戸初期以前の阿倉川村に関する記録も極めて少ない、領主の変遷も不明な点が多い状況です。



江戸期になって、桑名藩、天領、紀州領と東西阿倉川村領主が変遷しますが、その傍

## 海蔵地区の地名を調べて

その五

四日市市史編さんP・T

森 逸 郎

鎌倉時代の書物「神風抄」

には、「鮑良河御厨」が出てきます。この記録が「阿倉川」の一番古い記録になるのでしょうか。

証にも欠け、正確な領主の判明は、享保年間（十八世紀初頭）以後にまで下ります。

享保十一年、八代將軍吉宗の御側用人であった加納久通は一万石の大名として取り立てられ、東西阿倉川を下賜されている。この折に、東阿倉川に陣屋をおいたが、後には文政九年に陣屋を上総国（今の千葉県）一の宮に移したため、一の宮藩、八田藩あるいは加納藩とも呼ばれています。加納藩の支配は、明治四年の

東西阿倉川村の斗代は、東は千八十五石余、西は五百五十六石でした。文禄三年の高郷帳には、阿倉川村千五百六十石余とあるから、これは東西阿倉川村が一村をなしていた証拠と言えましょう。

両村とも、徳川家康によって設けられた宿駅制度では、公用の旅人の世話をする助郷役として四日市宿へ出役を果していたがその負担は重く、宿伝馬の人馬の数は、村高百

石に対して馬一ないし三疋、人足も同数であった。東阿倉川村は馬三十疋ほど準備せねばならないほどであったから、年貢を納めること以上に大変な労苦を強いられたものと考えられます。

### 四、消えゆく民俗芸能

東阿倉川村は、桑名郡太夫村（現桑名市太夫町）とならぶ大（代）神樂の伝統芸能が所在した土地であります。

江戸時代中ごろから盛んであった阿倉川代神樂は、明治になって桑名郡太夫村大神樂との間に争いを生じたりしたが、その後も各地を巡って、世に阿倉川の代神樂として名を知らしめてきた。つい最近その芸能保持者の最後の方が他界され、あとを受け継ぐ気運も見られません。

また、阿倉川は、修験者山伏の地でもありながら、今ではすっかり忘れ去られた格好になっております。

### 五、終りに

私達の周辺には、何げなしに語りつがれてきた事柄が、この二十年ほどの間に急激に忘れられ、語られようともしなくなりまして。大変さみしい思いが致します。

今、市内の他地域では、そ

れら昔の出来ごとの掘り起しが盛んになってきております。海蔵地区の方々も取り組まれてはいかげでしょうか。是非そうされることを念願して、このシリーズを終えることと致します。



### 編集後記

TVゲームは、恐しい程の勢いで各家庭へ浸透しています。

一過性のもので、半年か一年も経てば下火になるという見方や、いや数年は続くだろうという説があり、専門家の間でも意見の分れるところです。いずれにせよ、今、その功罪を本腰を入れて考える時期にきています。この紙面が、その一助になれば幸いです。

広報編集委員会